

令和2年度渡島支部活動報告

1. コロナ禍の活動報告の目的

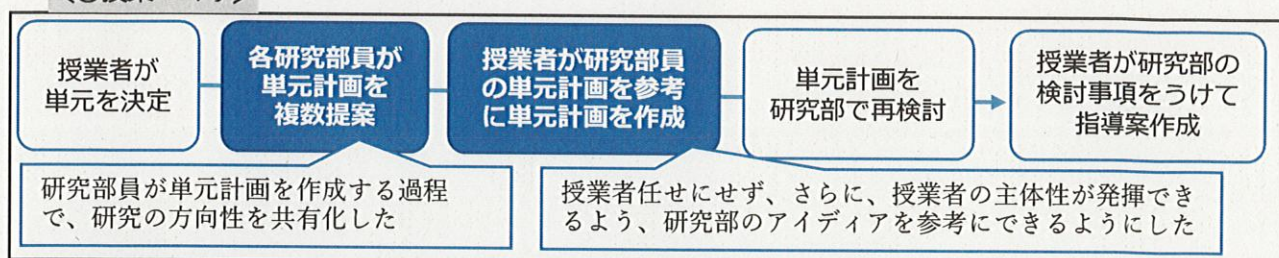
渡島体育研究会では、研究主題「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」を掲げ、子供が「運動の楽しさに触れた」・「がんばれた」・「共に成長した」と感じることができるような体育授業を目指して取り組んでいる。

1月下旬に第16回渡島体育研究集会を敢行した。新型コロナ予防対策を徹底し、動画による授業研究方式を採用するなど、コロナ禍において実施可能な研究会の在り方を模索した。コロナ禍で行われた研究集会は、事前に授業の様子を動画に収めて、全体でその動画を視聴して研究協議を行う方法を取った。

コロナ禍の中で、渡島支部が進めてきた研究実践について報告する。

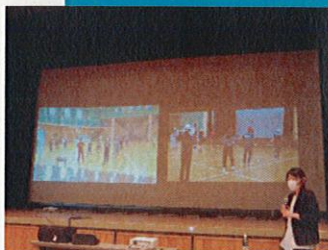
2. コロナ禍における研究推進

〔①授業づくり〕



〔②授業研究〕

さわら小学校：橋本奈巳教諭 単元：「表現」（表現・リズムダンス）



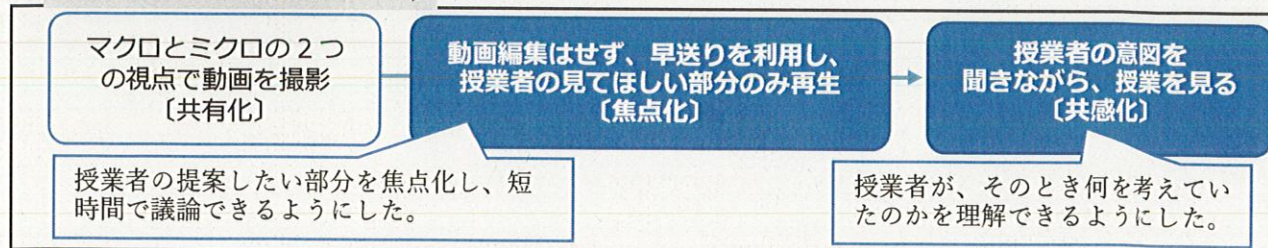
「グループでのダンス作り」を授業の中心活動に据えた課題解決型の学習が展開された。学習の雰囲気づくりを大切にしながら、「ステップの選択」や「ICTの活用」などの手立ての工夫を行った。ダンスづくりを通じたグループでの教え合いや認め合いにより、より多くの子どもたちが運動のもつ楽しさに触れ、自分や仲間の成長に喜びを感じられるような学習であった。

森中学校：下荒聡太教諭 単元：「フットサル」（球技 ゴール型）

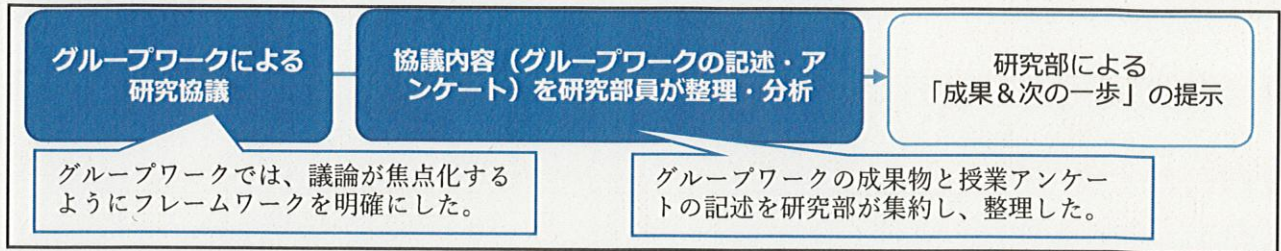


ゲームを活動の中心に据え、「パス&ゴー」や「サイド攻撃」など、多様な攻撃パターンを用いて、ゴール前での攻防を楽しむとともに、ゲームの状況を適切に判断し、安定したボール運びから得点につなげていくまでの流れを重点に授業を展開した。また、単元の序盤で学習した「基本的なボール操作の練習方法」をベースに、各グループで課題解決に向けたメニュー作りに取り組ませることで、学習意欲の向上を目指した学習であった。

〔③VTRによる授業研究方式〕



〔④研究協議〕



グループワークでは、議論が焦点化するようにフレームワークを明確にした。

グループワークの成果物と授業アンケートの記述を研究部が集約し、整理した。

グループワーク協議内容（一部抜粋）

「表現」（表現・リズムダンス）

- 「ステップ動画」によって、自分たちもできそうと思えるような資料を提示し、踊りやすい工夫の一つとなっていて、動きやフォーメーションなどが考えやすい
- 「ダンス進行表」があることで、曲を通して踊るための資料となっていて、自分たちもできそうと思えるような資料となっている
- よりよくするにはどうすればよいかを意識させ、踊りこむ時間を確保することも重要である。

「フットサル」（球技 ゴール型）

- 課題に生徒からの意見を取り入れることで、生徒自らが考え、行動しやすくなる
- フォーメーションやポジションを示すことで、課題が明確になり、チームが同じ方向に向かって、課題解決を図ることできる、また、それが楽しさにつながっていくとよい
- サッカーを授業で扱うのは、生徒の経験不足や技能が上達しづらく難しい、だからこそ、ゲーム中心で展開していく必要があり、ルールや場の工夫を多種多様に行っていく必要がある
 - ・モノ→ボールの大きさや種類、数・コートサイズ（ラインなし）・ゴールのサイズ、種類、数
 - ・コート→ルール（攻撃側のフリーエリア、得点加算条件）
 - ・ヒト→メンバー（習熟度別、男女混合一男女別）、人数

〔⑤今年度の成果及び次の一歩〕

	楽しさに触れた	がんばれた	共に成長した
成果&次の一歩	○十分な運動時間を確保しよう！ 見通しをもって学習者が活動を進めることで、運動時間が確保され、運動の楽しさに触れる機会が増える。	○学習の見通しをもたせよう！ 見通し（目標と学習内容）を確認しながら学習を展開すると、活動の必要感をもち、がんばることができる。	○学習成果を振り返る方法を充実させよう！ 動画を撮影し見返す、学習カードに書き表す、発問し思考させるなど多様な形式で学習をふりかえる。
	○どのような運動の楽しさに触れさせたいか明確にしよう！ 競争の楽しさ、感覚の楽しさ、達成の楽しさどんな楽しさに触れさせたいか。（複合的な楽しさもあり。）	○「できそう！やってみよう！」運動に取り組ませよう！ 今もっている力で楽しめる運動を取り上げたり映像資料を用意したりすることで、がんばることができる。	○他を見る機会を設け、考えを共有する場面をつくろう！ 動きを見合い、よかった動きを紹介する、見つけたコツを発表するなど、よさを共有し認め合う。
	○「モノ・コート・ヒト」の視点で学習活動を工夫しよう！ 用具、ルール、構成メンバーや人数など、楽しさに最大限触れるためには…。	○選択できる場面をつくろう！ 動き、作戦、ポジション、練習方法、曲などの自己選択場面により、思考、判断力が養われる。	○個人も集団も成長できる学習展開を検討しよう！ 共通の方向性を示す「ねらい」に向かいながら個別に「めあて」がもてるような学習活動を展開するには…。

運動をみんなで楽しむ合言葉

「フェアプレイ」を浸透させよう

～フェアプレイの要素「①全カプレイ②ルール順守③相手尊重④安全第一」～